



## EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスタで構成されます。ロゴは、6つのクラスタが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

# 研究拠点創成フォーラムNo.18： 「国際バカロレアMYP の実践から考えるこれ からの理科授業」 を開催しました



活動日時 2019年11月3日(日)

活動従事者 三好美織, 木下博義, 棚橋健治, 井戸川豊



広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)では、教育の専門家研究ユニット・IB教育クラスタの活動に関連して、2019年11月3日(日)に研究拠点創成フォーラムNo.18「国際バカロレアMYPの実践から考えるこれからの理科授業」を開催しました。

第一部では、東京学芸大学附属国際中等教育学校の鮫島朋美先生による講演・ワークショップを行いました。ご講演では、新しい学習指導要領の改訂の背景にある考え方やこれからの理科教育の目指す方向性とリンクさせながら、IB・MYP理科の特色について分かりやすくご説明いただきました。ワークショップでは、IB実践者を交えたグループをつくり、概念的な学びを実現するための「探究の問い」づくりに挑戦しました。各グループでの成果を発表し、「探究

の問い」に関わるアイデアを共有しました。

第二部では、広島県立広島観智学園中学校・高等学校の徳田敬先生、さいたま市立大宮国際中等教育学校の鈴木勝真先生、高知県立高知国際中学校の重森健介先生、札幌市立札幌開成中等教育学校の小松智彦先生より、実践事例をご報告いただきました。学習指導要領に示された学習内容に、IBの理念、MYPの単元設計の手法や評価の方法を取り入れた、理科授業の具体をお示しいただきました。意見交換では、言語能力の育成、評価について保護者も含めて理解を図る方策、評価のルーブリック作成の方法などについて、活発な議論が行われました。

IB・MYP理科の取り組みを鏡として、これからの理科授業について多様な観点から考え、情報共有を図る一日となりました。

